

請 願 文 書 表

受 理 番 号	第 4 号	付託委員会	建設土木委員会
受理年月日	令和 6 年 11 月 26 日	付託年月日	令和 6 年 12 月 2 日
件 名	南ぬ浜町緑地の捨て猫対策 について	請 願 者	石垣市桴海 [REDACTED] 島猫 TNR 協会 代表 早川 治
紹 介 議 員	長山家康		

(要 旨)

南ぬ浜町緑地公園（以下、当公園と呼ぶ）の猫の管理は、現在まで5年間毎日朝夕、4名のボランティアがすべての猫の個体確認、水とフードの給与、釣り針被害や交通事故、傷病猫の治療と幼猫の保護、島内外での里親探しなどを行っており、現在全ての猫の避妊去勢が完了しており繁殖は防がれているが、当公園の捨て猫は一向に減らず、今年度は増えており、現在160匹ほどの生息が確認されています。以上に鑑み、当公園で具体的に希望する取組みを以下に挙げます。

1. 避妊去勢手術の補助助成を続ける
2. 行政と警察によるパトロールを増やす
3. 駐車場出入口および数か所に防犯カメラを設置する
4. 当公園の駐車場出入口にゲートを設置し、午前0時から5時まで通行止めにする
5. 「石垣市 猫の飼い方ガイドライン」と「環境省 捨てず増やさず飼うなら一生」の全世帯配布および市広報による継続的掲載
6. 公民館、自治体、学校など地域に踏み込んだ啓蒙活動、多頭飼育世帯の情報収集と飼い方指導
7. 猫の管理をボランティアに委託し、フード、傷病治療、幼猫保護、島外里親への輸送の費用を行政で負担すること

以上

請願書



南ぬ浜町緑地公園の捨て猫対策について

令和6年11月26日

石垣市議会議長 我喜屋 隆次 様

石垣市桺海 [REDACTED]

島猫 TNR 協議会

代表 早川 始 [REDACTED]

紹介議員

長山 家康

南ぬ浜町緑地の捨て猫対策について

南ぬ浜町緑地公園（以下、当公園と呼ぶ）においては2012年に一斉避妊去勢手術が行われた後、県保健所による地域猫事業、および2022年度からは市環境課による飼い主のいない猫の避妊去勢事業が行われています。また市は避妊去勢手術に上限1万円の補助を行っています。

捨て猫につながる望まれない繁殖は、避妊去勢によってしか解決できません。また遺棄現場における監視が防犯につながると考えます。

一方、当公園の猫の管理は、現在まで5年間毎日朝夕、キャットナースリーラリマーを主体とした4名のボランティアが、全ての猫の個体確認、水とフードの給与、釣り針被害や交通事故、傷病猫の治療と幼猫の保護、島内外での里親探しなどを行っています。現在、全ての猫の避妊去勢が完了しており、繁殖は防がれています。

こうした行政と民間の取組にも関わらず、当公園の捨て猫は一向に減らず、今年度は増えており、現在160匹ほどの生息が確認されています。

以上に鑑み、当公園で具体的に希望する取組を以下に挙げます。

1. 避妊去勢手術の補助助成を続ける
2. 行政と警察によるパトロールを増やす
3. 駐車場出入口および数か所に防犯カメラを設置する
4. 当公園の駐車場出入口にゲートを設置し、午前0時から5時まで通行止めにする

5. 「石垣市 猫の飼い方ガイドライン」と「環境省 捨てず増やさず飼うなら一生」の全世帯配付および市広報による継続的掲載
6. 公民館、自治会、学校など地域に踏み込んだ啓蒙活動、多頭飼育世帯の情報収集と飼い方指導
7. 猫の管理をボランティアに委託し、フード、傷病治療、幼猫保護、島外里親への輸送の費用を行政で負担すること

当公園や於茂登岳周辺の捨て猫が多い地域の状況を鑑みると、避妊去勢事業は繁殖に追い付いていません。10年以上の活動を経て捨て猫がなくなる現状から、今後も同じ状況が当面続くと思われます。

関係機関が今以上の問題解決に取り組めないなら、ボランティアは財政も生活費も破綻してしまうので活動を続けることはできません。市民や観光客がエサやおやつをあげてその場に残してゆく缶や袋の清掃はともかく、猫の害になるバーベキューや弁当残飯の回収など本来は市が責任を負うべき清掃も行い、体力的に疲弊し精神的に意欲が失われています。

当公園は石垣市においてもっとも犯罪が多発している場所です。年間に数十匹の猫が遺棄されているのに何らの対策がなされていない現状では、ボランティア活動にも限界があることをご理解いただきたいです。

以上のとおりお願いいたします。